

変貌する Business Communication
進化し続ける「テレビ会議／WEB会議システム」

#2 トレンド

クラウドサービスの登場で
ますます身近になったワケ

VTVジャパン株式会社／代表取締役

かや の まさ のり
栢野 正典

REPORT by
CNAレポート・ジャパン／遠隔会議システムアナリスト
はし もと けい すけ
橋本 啓介

FRESH VOICE
TV Conference

anet
Advanced Network Systems

会議室同士をつなぐ目的であればハードウェア型のテレビ会議システムが適している。出張先やテレワーク、工事現場などでのより広い範囲での活用を目的としている場合はWeb会議システムの方が柔軟に対応できる。最近では両方の組み合わせで導入するケースも多くなってきている。

FRESH VOICE
TV Conference

anet
Advanced Network Systems

INDEX

- ◆クラウドサービスの登場がもたらした革新
- ◆テレビ会議とWeb会議の用途の違いとは
- ◆両方の組み合わせで導入するケースが増加
- ◆単一拠点の企業も使い始めている



VTVジャパン株式会社
代表取締役

かやのまさのり
栢野 正典

1965年、兵庫県生まれ。大阪教育大学を卒業後、幾つかの企業でマーケティングと営業実務を学び、1995年にVTVジャパン株式会社に入社。1997年11月に同社代表取締役に就任。

■クラウドサービスの登場がもたらした革新

「クラウドサービスによって、テレビ会議 / Web 会議は、試しにまず試してみることができる時代になった」

こう話すのは、今年で設立 23 期目を迎えたテレビ会議 / Web 会議システムの大手 Sler、VTV ジャパン株式会社（以下、VTV）の代表取締役を務める栢野正典（かやの まさのり）氏だ。

同社は、1995 年 1 月まだ ISDN テレビ会議システムの全盛期だったころに、貸テレビ会議室の運営と機器販売を主業務として設立。テレビ会議システム専用機やそのクラウドサービス、エイネットの Web 会議システム「FreshVoice」などの製品の販売やレンタル、保守・運用サービスを手がける。栢野氏は 1997 年 11 月に同社の代表取締役に就任。以来、テレビ会議システム市場の進化のど真ん中でその変遷を見てきた「業界の第一人者」のひとりである。

「この業界はこの 5 年で大きく変貌している。その要になるのがクラウドサービス。ブロードバンドの広がりとともに、パソコン、スマートフォン、タブレットの浸透によって、テレビ会議 / Web 会議は気軽に使えるシステムになった」
(栢野氏)

以前は、専用端末のイニシャルコストが数百万円するケースもあり、固定資産

以前

イニシャルコストが数百万円…
固定資産として導入…
気軽に導入できない…



5年くらい前から

数回の出張費と
同等のコストで導入できる!
早ければ即日で運用開始できる!
“お試し感覚”で気軽に
導入できる!



として導入する方法が一般的。気軽に導入という状況ではなかった。一方、現在はインターネット環境に加え、パソコン、スマートフォン、タブレットを用い、クラウドサービスを利用すれば、早ければ即日でテレビ会議 / Web 会議を始められるし、数回の出張費と同等のコストで導入できるようになった。

「常に最新のサービスを低コストで受けられるようになってきているし、開始も停止も簡単にできるのがクラウド。払った費用は経費として落とせる。テレビ会議 / Web 会議導入の敷居をかなり下げた」(栢野氏)

また、クラウドは多地点で会議する際に必要となる多地点接続装置の導入も不要にする。顧客管理や会計など基幹業務のアプリケーションをクラウドで利用できるように、テレビ会議 / Web 会議もクラウドサービスで利用できる時代になった。

■ テレビ会議と Web 会議の用途の違いとは

過去 20 年間の業界の歴史を振り返ると、ISDN から IP への大きな変化を背景としたクラウドサービスの登場はテレビ会議 / Web 会議市場に地殻変動をもたらした。テレビ会議 / Web 会議は、企業規模や利用目的に合わせて、従来のオンプレミス (社内設置) からクラウド (サービス利用) まで、さまざまな製品やサービスが提供される時代になったからだ。

テレビ会議とWeb会議の違い

[テレビ会議]



機能：映像・音声・資料共有ができる
用途：会議室と会議室を結ぶ

[Web会議]



機能：映像・音声・資料共有ができる
用途：PC、スマホ、タブレットを用い
パーソナルな使用を想定

それに合わせてVTVでも提供する製品・サービスのカテゴリーを増やしてきた。ユーザーの意識も変わってきた。

「一昔前までのお客様との商談では、“テレビ会議とは”という、そもそもの説明が必要だったが、現在はリテラシーの高い方が多く、“テレビ会議をいかに活用するか”といった本論にすぐに入るのが普通になってきた」（栢野氏）

商談の中では、テレビ会議とWeb会議は比較されることが多く、その違いについて問われることが増えてきたそうだ。

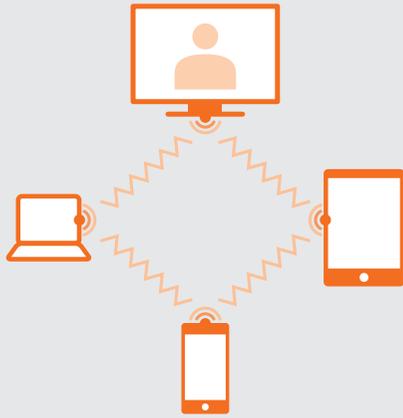
Googleの検索では「テレビ会議」よりも「Web会議」の方が増えてきているそうだが、それに合わせて同社では、同社で取り扱っているエイネットのFreshVoiceなどWeb会議についての問い合わせも増加。ユーザー側の関心の高まりを実感していると栢野氏は話す。

テレビ会議システムとWeb会議システムは、いずれにしても映像・音声・資料共有ができる。そういった意味では両者は「ハードウェアかソフトウェアか」の違いのみで、機能の面では基本的にどちらも差はない。

しかし、用途が違う。テレビ会議システムは会議室と会議室を結ぶことを想定した映像や音声面で高品質さを追求したハードウェア専用端末。一方、Web会議システムは、パソコンやスマートフォン、タブレットで使われるアプリ

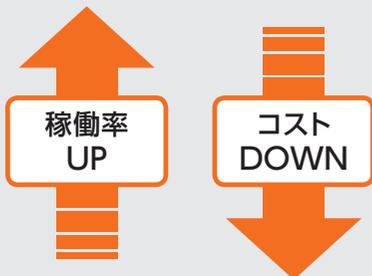
最近のトレンド

[テレビ会議とWeb会議を
組み合わせる]



メリット
コスト低減 + 稼働率向上

会議室をつなぐだけでなく、出張先名地にも持ち出して使えるため、稼働率が上がり、運用的にもコストが下がる



ケーションソフトウェアで、パーソナルで柔軟な使用を想定したものだ。導入コストのほか、操作性といったユーザビリティの面も違いがある。

■両方の組み合わせで導入するケースが増加

では具体的な選択基準の考え方だが、会議室同士をつなぐ目的であれば、1拠点あたり大勢の人が参加する会議が想定されるため、ハードウェア型のテレビ会議システムが適しているだろう。一方、出張先やテレワーク、工事現場などでのより広い範囲での活用を目的としているのであれば Web 会議システムの方が柔軟に対応できる。

また、最近では両方の組み合わせで導入するケースも多くなってきているようだ。

「以前はテレビ会議システムと Web 会議システムの相互接続は難しかったが、今ではそういった仕組みが充実してきている。テレビ会議と Web 会議を組み合わせる案件は全体の 2 割に達しており、今後についても増加傾向にある」（栢野氏）

テレビ会議と Web 会議を組み合わせた場合、コスト低減、稼働率の向上などのメリットもある。長年使用してきた 40 台のテレビ会議システムを更改した最近のリプレース事例では、10 台はテレビ会議システム、残りの 30 台はタブレット + Web 会議システムに置き換えたケースがある。これにより、専用端



FreshVoiceの画面。SIPに対応しているため他社システムとの柔軟な接続が可能。モバイル/PDAでの利用など、活用シーンはますます広がっている



活用シーン事例

本社で…

本社会議室では専用機を導入、大人数での会議を開催可能に

支社で…

中規模の会議を開催

地方拠点で…

PCのディスプレイを用いた会議を開催

モバイルで…

高速なワイヤレス・ブロードバンドの活用により、モバイルでのテレビ会議開催も可能に

末の代わりに社内にある既存のタブレットを使用することで、専用機 40 台を丸ごとリプレースするよりもコストを抑えた導入が実現したという。

しかも、会議室をつなぐだけでなく、出張先などに持ち出したりして使える範囲が広がり、結果、稼働率が上がり、さらに運用的にもコストを下げることができたようだ。

テレビ会議 / Web 会議が導入しやすくなったといっても、「うちにはまだまだ」という声もたまに聞かれる。栢野氏によると、人と人とのコミュニケーションを支援するシステムなので企業によって向き不向きというのはなく、業種も規模も関係ないという。

その状況は昨今の注目されている Web 会議やクラウドによってさらに後押しされている。

■ 単一拠点の企業も使い始めている

かつては、テレビ会議は数百万円以上と高価だったため、導入企業は複数拠点を持つ大企業が多かった。

「ところが、今は中堅中小企業にとどまらず社員数 50 名以下の企業からの問い合わせも増えてきている。しかも、今は 1 拠点企業でも使い始めている状況に

「今は社員数50名以下の企業や1拠点企業でも使われ始めている」(VTVジャパン代表の栢野氏)



VTVジャパンの会社概要

- 設立：1995年1月
- 資本金：8,000万円
- 業務内容：テレビ会議・Web会議システムの機器販売
およびレンタル、同システムに関する保守・運用サービス、
テレビ会議システムを設置した貸テレビ会議室の運営
および予約管理
- 問い合わせ先：フリーダイヤル 0120-880-576
(平日9:00～17:30 土日祝除く)

なってきた」(栢野氏)

たとえば、クライアントとの打ち合わせに Web 会議を使っているケース、遠隔受付窓口など自社ビジネスと組み合わせて活用しているケースも多くなってきたそうだ。

さまざまな製品やサービスがあふれている今のテレビ会議 / Web 会議市場。何を選べばよいかわからない導入検討企業も多い。そういった際にどういった販売会社を選べばよいだろうか。

長年最前線に立ち、ユーザーの導入事例を豊富に見てきた栢野氏は、「お客様の社内のコミュニケーションの現状や課題、導入環境を把握しつつ、目的に応じてよりマッチした使い方を的確に提案でき、導入後もしっかりサポートをできる販売会社を選択すべきだ」と話す。

テレビ会議 / Web 会議システムは昨今、ユニファイドコミュニケーション、チャット、AI (人工知能)、顔認識、ビッグデータ、ロボットなどさまざまな異分野との連携が進んでおり可能性が広がっている。

そういった中、企業毎に社内文化や社風があり、コミュニケーションにもそれぞれ異なった形態やスタイルがある。そういった企業のコミュニケーションを広くとらえ、問題や課題を解決するシステムとしてテレビ会議 / Web 会議システムは、さらなる飛躍と進化を遂げていくだろう。

■ FreshVoice が選ばれる理由

▼ 運用コストが安い

Fresh Voiceは、専用機以上のクオリティで、導入・保守費用が安い! さらに設備型ではなく、パソコンをベースにしたテレビ会議システムなので、運用もラクチン!

▼ 多拠点対応であらゆる場所から会議に参加できる

サーバーに多拠点接続を可能とするソフトウェアMCU搭載サーバーを増やせば、100拠点でも150拠点でも増設が安価で簡単!

▼ パソコンが苦手でも全然大丈夫

電話のように簡単で、わずか3クリックで会議を開催できます。強制呼び出しも可能で、参加者は0クリックで会議に参加できます。

▼ その場で会議しているのと遜色ないクオリティ

国際標準コーデック規格H.264/SVCに準拠の高画質。4,000km離れていても隣にいるような音声でノンストレス。

[Fresh Voice]の詳細はこちらから ▶
 <https://www.freshvoice.net/>

専用サイトはこちらから ▶ https://www.freshvoice.net/fvlpo_comparison/

エイネット株式会社

(Advanced Network Systems Co.,Ltd.)

【東京本社】東京都千代田区神田佐久間町3-23 スタウトビル3F
TEL:03-3862-5402 FAX:03-5822-2039

【大阪支店】大阪市中央区北浜1-1-27 グランリュウ大阪北浜3F
TEL:06-6121-3081

お問い合わせ ▶ ☎ 0120-275-319
受付時間: 9:00 ~ 17:30 (土日祝日・お盆年末年始除く)